

しんとつかわ

# 議会だより

No.84

2020.5

HOKKAIDO SHINTOTSUKAWA TOWN



春を待つ農地

特集

## どうする 町の活性化！（後編）……………2

- 定例会レポート  
審議レポート……………4  
予算ここに注目！……………6
- 委員会トピックス……………8  
「住民意見の集約と対応」

- 情報発信……………12  
まちかどインタビュー  
インフォメーション ほか

本町の人口減少の傾向は、生産年齢人口の減少幅が人口推移の予想より大きいことが分かりました。そのことが町の活性化に大きな影響となり、私たちの生活にも様々な課題をもたらすことが想定されることから、定住促進（住む場所）と併せて、雇用促進（働く場所）が今後の町づくりには必要と述べさせていただきました。

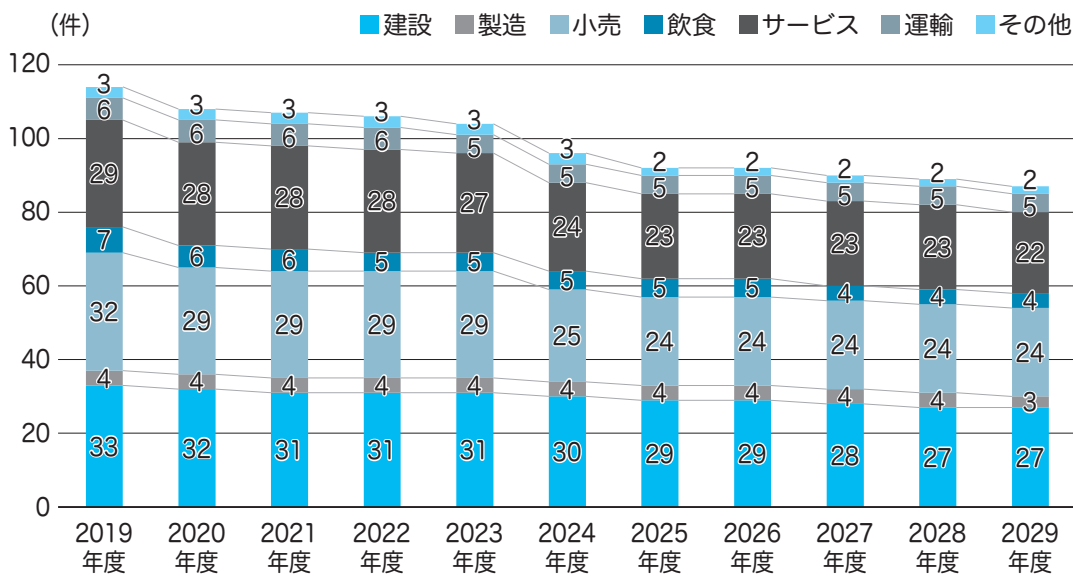
後編は、地域経済に視点を移し、町の商工業の現状から雇用促進を考察し、今後の町づくりについて特集します。

## 町内商工業の現状

### 「10年で23.7%の減少想定！」

新十津川町商工会会員数のシミュレーション（業種別）

（資料提供：新十津川町商工会）



#### ※シミュレーション条件

- 会員数は基準日（2019.4.1）の個人の商工業者及び株式・有限会社など。
- 廃業想定年齢を75歳と設定。既に75歳に到達している方は+5歳（80歳）で廃業年齢と設定。
- 後継者がいる場合は、廃業想定年齢に関係なくカウント。
- 新規開業の想定なし。

現会員の平均年齢は約60.8才と年々高齢化が進み、会員数シミュレーションでは今後10年で会員数が約23.7%減少すると想定。

新規開業や事業継承が進まない限り、町内企業数は減少の一途をたどり、地域経済の衰退が懸念されます。



「どつどつすすめる町の活性化！」  
人口減少から、町づくりを考える

後編

# 地域経済の活性化と雇用の創出への取組

## 国内起業関心層、14.3% 注目される“地方起業”!

日本政策金融公庫総合研究所の調査では、18歳～69歳で起業に関心がある割合は14.3%。うち、30歳代以下の53.2%が起業に関心があると回答。

起業したいと考えている人の中には、地元でのUターン起業、地方へのIターン起業を選択する方が多く、起業する場所は首都圏より地方を望む傾向が強くなっています。

### 《地方が選ばれる3つの理由》

#### その1 移住して起業したい人を地方自治体が歓迎

高齢化が進み、財政が立ち行かなくなることを危惧する自治体が、新たなビジネスを創出する人を積極的に受入れるため、手厚い企業支援施策（優遇制度）を実施。

#### その2 ワークスタイルの多様化

複数の仕事を掛け持ちするパラレルワークやインターネットによるテレワークなど地方でも不自由なく働ける環境が整ってきている。

#### その3 都市部と比べてコストが抑えられる

都市部と比べ物価が安いいため、創業にかかるコストだけでなく、事業を続けていく上でのランニングコストを抑えることができる。

「新十津川町の魅力を活かし、起業者を呼び込めるか!」

高齢化と後継者不在により、企業数が減少をたどる中、企業誘致や起業・創業支援、事業継承などの取組が各自自治体で積極的に行われています。  
なかでも、地域の空き家や空き店舗を活用し、地方のメリットを活かした「起業・創業」に注目が集められています。

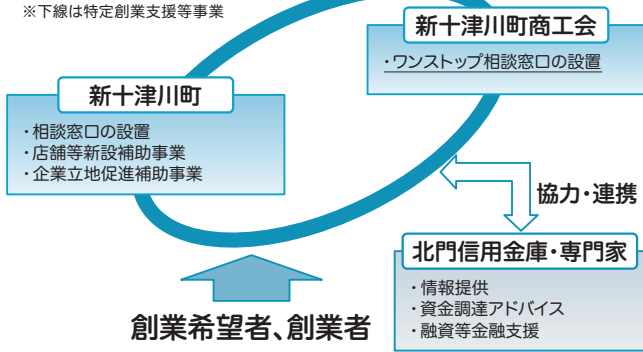
起業形態（事業内容や経営方針、規模、資金状況）や、起業する方の経営能力などに応じたきめ細やかなサポートが重要とのことから本町では…

### 創業支援等事業計画策定

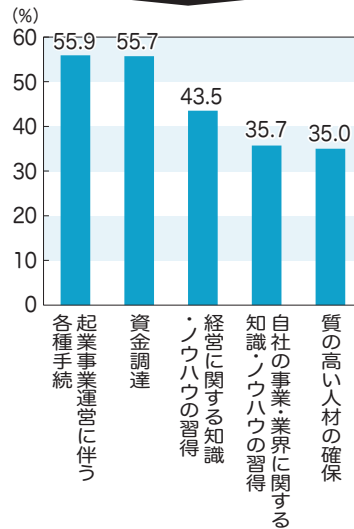
相談体制の充実や創業支援機関の連携を図り、創業支援の取組を強化。年間6件創業を目指す!

<全体像>

※下線は特定創業支援等事業



### (中小企業庁アンケート) 起業時における課題 (複数回答)



起業をするには、多くの壁（課題）を乗り越えなければならぬことから、町内で起業・創業を希望する方への支援を行うための計画を策定し、国の認可を取得。

起業を増やすための新十津川町の取組み

### 本町の 起業・創業支援施策

★中小企業者応援制度（店舗等整備、地場産品開発、販売促進、人材確保等に助成）

★融資制度資金利子補給制度（指定融資制度を利用した当該資金利子の50%補給）

★事業資金保障融資制度（事業資金の融資あつせんと利子を50%補給）

※次のような条件をクリアすることが必要となります。

条件1 町内に住所を有している。

（法人は町内に登記されている。）

条件2 町税を完納している。

条件3 町商工会に加入している。

### まとめ

町内起業を促し働く場を増やすためには、現行制度の見直し等を検討し、町外在住者が町内で起業しやすい環境整備が必要と思われます。

加えて、町商工会でも道外からのUターン、Iターンの積極的な働きかけによる定住促進とそれに併せた町内事業所と連携した再就職先あつせんをスムーズにできる仕組みの構築と補助制度の創設を町に要望していることから、今後も議会として、町商工会や町内事業者の声を聴きながら、地域経済の維持、促進を目指したまちづくりを継続して協議検証していきます。

# 定例会レポート

## 審議レポート

新型コロナウイルス禍により、本町でも感染予防の徹底を図るため短縮日程とし、一般質問の通告はありませんでした。



### 第1回定例会

## ○合併処理浄化槽設置への補助金額を拡充

第1回定例会は3月10日に開会し、条例の一部改正10件、条例の廃止1件、令和元年度補正予算4件、令和2年度予算5件、報告1件、選挙1件、議員発議1件について審議し、原案を可決。3月16日に閉会しました。

### 令和2年度 予算審査特別委員会

## ○総額93億7,727万3千円の大型予算可決

第1回定例会において、令和2年度新十津川町一般会計及び4つの特別会計の予算について審議を行いました。一般会計では前年比36.5%の増額となりました。ここでは、予算審議の質疑の一部をご紹介します

## 審 議 レ ポ ー ト

### 開催された定例議会、臨時議会の審議結果報告

#### ◆ 令和2年 第1回定例会 ◎ 3月10日～16日

議 件 名	内 容
専決処分の報告	旧大和小学校解体工事における請負額の変更 ・変更の理由 杭撤去本数及び産業廃棄物処分量が確定したため ・増 減 額 △171万6千円 ・変更後の額 1億9,518万4千円
新十津川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	基礎資格を持つ支援員が取得すべき北海道の認定資格について、放課後児童クラブの安定した運営の維持を図るため取得期限を令和元年度末から同4年度末までに延長する改正

令和元年度新十津川町一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出それぞれ2,566万円を減額し総額を72億9,497万円とする。 【主な内容】 ・ふるさと応援基金積立金 3,533万9千円 ・職員人件費 △1,762万3千円 ・防災無線管理事業 △1,380万5千円 ・プレミアム付き商品券事業 △1,105万9千円
令和元年度新十津川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ2,157万6千円を追加し総額を2億9,852万円とする。 【主な内容】 ・国民健康保険事業基金への積み立て 2,362万5千円
令和元年度新十津川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ379万3千円を減額し総額を1億1,228万9千円とする。 【主な内容】 ・後期高齢者医療広域連合負担金 △379万3千円
令和元年度新十津川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ52万2千円を減額し総額を1億8,109万5千円とする。 【主な内容】 ・下水道事業消費税納付金 △52万2千円
新十津川物語記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正	開拓記念館・アートの森彫刻体験交流施設(かぜのび)・物語記念館の3施設の往来を活性化させるため、物語記念館の入館料に減免制度を導入
新十津川町公営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正	民法の規定見直しに伴い、公営住宅管理に関する敷金の定義、入居者の現状復旧義務、不正入居に係る損害賠償等を改正
新十津川町水防団条例の一部改正	水防団長及び水防団員の報酬基本額と役職加算額を増額改正
新十津川町合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付条例の一部改正	合併処理浄化槽への転換促進を図るため、補助対象工事並びに補助金額を拡充する改正
新十津川町公の施設の使用料等減免条例の一部改正	施設使用料の減免対象に、障がい者と介助者1人を加える改正
令和2年度新十津川町一般会計予算	歳入歳出の総額をそれぞれ87億5,313万円とする。
令和2年度新十津川町国民健康保険特別会計予算	歳入歳出の総額をそれぞれ2億7,474万6千円とする。
令和2年度新十津川町後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出の総額をそれぞれ1億1,804万9千円とする。
令和2年度新十津川町下水道事業特別会計予算	歳入歳出の総額をそれぞれ1億9,596万6千円とする。
令和2年度新十津川町農業集落排水事業特別会計予算	歳入歳出の総額をそれぞれ3,538万2千円とする。
新十津川町選挙管理委員及び新十津川町選挙管理委員補充員の選挙	【選挙管理委員】吉田 則英氏 【補充員】齋藤 信也氏 吉田 涼一氏 蓬田 佐智子氏 十河 真由美氏 今中 雄一氏 小田 秀一氏 橋本 賢明氏
※任期：選挙管理委員、補充員ともに、令和2年3月22日から4年間	
議員発議 「民族共生の未来を切り開く」決議	今春、アイヌ文化の復興と発展の拠点として、民族共生象徴空間「ウポポイ」が開設される。この機会に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため「民族共生の未来を切り開く」決意を表明する。

## ◆ 令和2年 第1回臨時会 ◎ 4月8日

議 件 名	内 容
令和2年度新十津川町一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ950万円を追加し総額を87億6,263万円とする。 【主な内容】 ・町内8店舗の飲食代金(宿泊代金)に応じ、クーポン券1枚当たり200円の割引額のうち一部(150円)を助成 877万5千円 ・事務及びチラシ作成に要する経費 72万5千円

# 予算ここに注目！ ～令和2年度の予算審査における主な質疑応答～

令和2年度の一般会計と4特別会計予算は、予算審査特別委員会（小玉博崇委員長）を設置して審査を行い町提案の原案を「可決すべきもの」と決定しました。

**民生費** 地域包括支援センター運営事業

**西内** 議員

アシストスーツ、ぬいぐるみ型ロボットの利用に向けての効果の確認方法と住民ニーズの検証は、アシストスーツは社会福祉協議会の訪問入浴支援員や入所施設に貸出し、腰痛予防効果を確認する。セラピー人形は認知症カフェや、在宅の認知症患者に貸し出す。効果や住民の希望は、ケアマネを通して確認したい

**答弁** アシストスーツは社会福祉協議会の訪問入浴支援員や入所施設に貸出し、腰痛予防効果を確認する。セラピー人形は認知症カフェや、在宅の認知症患者に貸し出す。効果や住民の希望は、ケアマネを通して確認したい

**総務費** 総合行政審議会運営事業

**鈴木** 議員

元年度、大幅な減額補正をしたにもかかわらず、今回増額予算としたわけは

**答弁** 2年度は、第6次総合計画策定のため会議が多くなると予想されるため

**総務費** 庁舎建設事業

**安中** 議員

現在感染性ウイルスが蔓延している状況で調達資材が多量に依存しているものが多く、特に水回り資材は中国からの輸入がほとんどであり、工期に影響が出てくることも懸念されるが状況は

**答弁** 受注業者に聞き取りを行っており、問題ないと回答を得ているが今後の動向を注視していく

**農林水産業費** ピンネ農業公社運営負担金

**井向** 議員

実験農場がピンネ農業公社委託となつて、そこで生産される各種苗代が上がっている。今後値上げする予定があるのか

**答弁** 振興作物の種苗ということもあり経営努力はするが、今までどおりの生産費では若干の値上げはご理解いただきたい

**衛生費** 浄化槽設置整備事業

**西内** 議員

工事費に対する補助率は。また、現在の未処理人口と件数、汚水処理人口普及率は

**答弁** 限度額まで満額補助される。平成30年、年度末の未処理人口2,111人で、単独処理浄化槽39戸、非水洗化308戸、汚水処理人口普及率は89%

**衛生費** 空き家対策事業

**村井** 議員

危険空き家対策事業について成果は上がっているのか

**答弁** 所有者に連絡を取り、除排雪などの、安全面に対する意識づけをしている。特に管理の悪い所有者に対しては、指導・勧告をしている

**土木費** J R 札沼線施設撤去事業

**長名** 議員

J R 札沼線施設の撤去は何年かかるのか、又そのあとの農地整備は何年かかるのか

**答弁** J R 施設については令和3、令和4年、農地整備については令和5年度の着手を目指し調整中である

**消防費** 災害救助物資

**村井** 議員

各行政区に災害時の物資は用意されているのか。今回の新型コロナウイルス対策用のマスク等も今後のために用意すべきでは

**答弁** 行政区補助事業で各自治会館には発電機等、一定の資機材を用意してある。マスクについても落ち着いたら備蓄を考えていく

**農林水産業費** 木質バイオマス施設運営事業

**安中** 議員

バイオマスボイラの灰は、循環型利用するのか、廃棄物処理するのか

**答弁** 成分分析後、有害物質が含まれていなければ融雪剤にしたいという業者がある。有害物質が含まれていた場合は産業廃棄物となるが、100%木材チップの灰なので、一般的には有害物質は出ないと聞いている

**商工費** 観光PR推進事業

**長谷川** 議員

今まで、J R 札沼線を観光のメインにしてきたが廃線後にはどのような事業をするのか

**答弁** 廃線後は9月末で駅の観光案内所を廃止し、拠点としての機能は物産館へ移す。とつかわこめぞーキヤラクターの活用等と併せ、地域おこし協力隊と相談しながら新たな起爆剤を考えていきたい

**商工費** 商工振興費

**村井** 議員

新型コロナウイルスによる売り上げ低下など、企業に対する緊急対応を考えているか

**答弁** 今のところ、11、12件の相談が来ている。段階に応じて臨機応変に対応策を考えていく

**土木費** 冬季除排雪事業

**安中** 議員

除雪の委託費が毎年上昇しているが、委託内容に変わりが出ているのか

**答弁** 平成24年と令和元年との比較では予算で1.57倍、特殊作業員の人数が同じく1.56倍と上昇。人件費の比率が高いため連動して上昇している

教育費

新十津川アートの森管理事業



進藤議員

今後の対応は  
「10周年のイベントについてはバスの運行を計画しているが、普段の運行は行わない」  
アートの森まで交通手段がなく行くことが出来ない。

教育費

地域おこし協力隊活動事業



鈴木議員

起業用の予算100万円が盛り込まれているが、どのような形が想定されるのか  
「体育協会と連携しながら、スポーツクラブに係るマネジメントや講師などを個人で行う起業形態を考えている」

教育費

小学校教育推進事業



西内議員

「ギガスクール構想」により学校で整備する内容は、また、整備に係る国からの措置は  
「小・中学校ともに1人1台の端末機と、高速通信の環境を整備する。2年度は児童・生徒が一齐に使えるよう校内に8か所のアクセスポイントを増設する。財源として国から補助金が交付される」

質疑が集中!

「生分解性レジ袋 配布目的に疑問!」

環境保全事業に対して約44分の質疑応答

対象は、事業者では無く家庭?

衛生費



西内議員

生分解性レジ袋を、ふるさとまつり等のイベントで配布することある。レジ袋削減やマイバッグ推奨なら理解できるが、ごみを焼却処分している本町でレジ袋を配布してどんな効果があるのか

「ポイ捨てや不法投棄などで、環境汚染に繋がるプラスチックごみを発生させる割合は消費者の方が多い。そのため個人・家庭レベルでの「使い捨てプラスチック削減」に取組み、地球にやさしい町づくりを目指したい」



進藤議員

マイバックを持つてくさいというチラシを配布する一方、生分解性レジ袋を使ってくさいというのは相反する。どちらの方向に進んでいるのか分からない

「どちらというのではなく、町としては環境にやさしい取組みを「多方面から」個人・家庭へ働き掛けていきたい」



井向議員

生分解性レジ袋も普通のレジ袋も住民にはどちらも「ゴミ」である。生分解性レジ袋の単価はどれくらいか。また、予算付けをするならトレいやプラスチックの回収にあててはどうか

「5割ほど割高になる。これは環境に対する意識を高める取組みであって、その他のプラスチックごみの対応については別に考えていきたい」



安中議員

大手量販店などではレジ袋を有料化して制限をかけているし、問題となっている状況にある。エコバッグに誘導したいのか生分解性レジ袋に誘導したいのか分からない。もう一度整理してほしい

「マイバックは普及してきているが、現在もレジ袋を購入されている方はいる。レジ袋を替わる方にも地球にやさしいレジ袋がある、今後普及する可能性があるということを知っていただきたい」



西内議員

事業者側の意識を変えていく取組みならわかるが、家庭への啓発では納得できない。これによって事業者が生分解性レジ袋に切り替える見込みがあるのか

「第2次環境基本計画の初年度の取組みとしてまず家庭での意識を高めていき、事業者については今後検討していく」



長谷川議員

双方の意識改革が必要であるが、レジ袋を使用するのは事業者なのでまずは事業者の意識改革が先ではないか

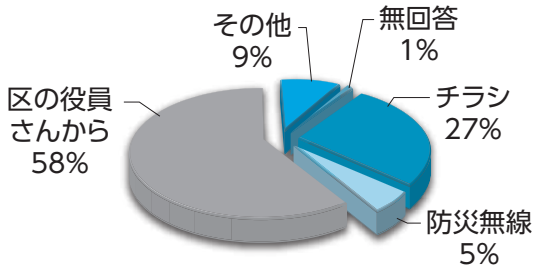
「事業者の場合、行動に移すにあたり経営面との兼ね合いなど難しい問題があるため、まずは家庭での意識改革を進めていきたい」

# 「住民意見の集約」

## 令和元年度 議会くるま座ミーティング・かたるベサロン

みんなの声  
がまちを  
変える！

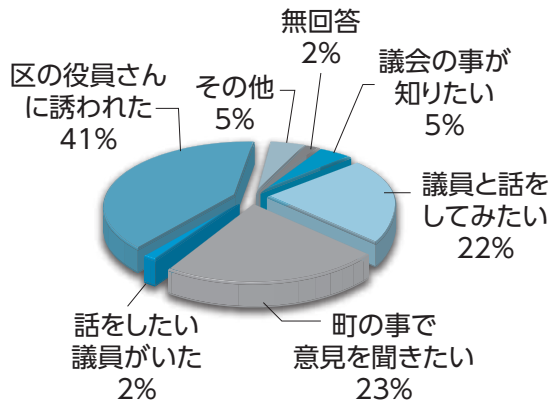
### 問1 くるま座ミーティングの開催をどのように知りましたか？



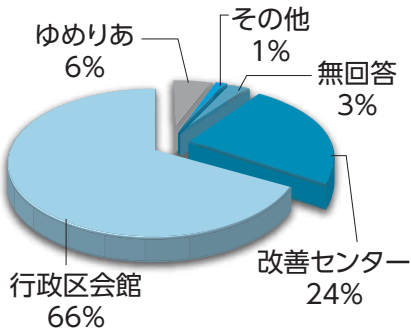
昨年10月から行われた「議会くるま座ミーティング・かたるベサロン」では、多くの住民の方から482件のご意見、ご質問を頂きました。

同時に行ったアンケート結果は次のとおりです。

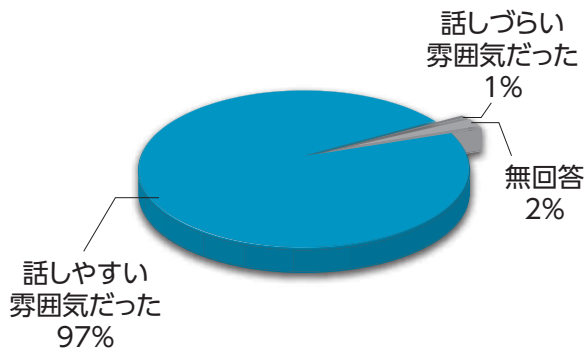
### 問2 参加しようと思った動機は何ですか？



### 問3 開催場所として適している場所をお聞かせください



### 問4 会場の雰囲気はどうでしたか？



### 参加者の声

◆ 少人数で話をするほうが話をしやすいし、いろいろな話題を提起でき回答もスムーズに聞くことができました。

◆ 色々とお話を聞き、「あーそうなのか、そうだったんだ」等、初めて聞く言葉がたくさん出て、自分の勉強不足であると思い知りました。

◆ 目の前に笑顔の議員さんがいて話しやすいかった。

◆ とても良い取組みだと思えます。

◆ 議員さんと話す機会がないので、いろいろな話を聞けるためになりました。また参加したいです。

◆ 色々なことを気軽に話できて、とても良かったです。

◆ とても良い形でした。自由に声を出せる、聞き合える雰囲気で良かったなと思います。

◆ 初めての参加でよくわからずに参加しましたが、自分の知らないことなど話も聞けて、とても良かったです。自分が思っていたことも話のできたので良かったです。

◆ 初めての参加でしたけど、話しやすく、様々な意見が聞けて良かったですと思います。

◆ 種々な意見が出る中で、特に注視したい意見が出た時には、その結果を何かの方法で教えてほしい。なかなか議会傍聴に行けないが、今後は参加したいと思いました。

◆ 多くのご意見、ありがとうございました。広報広聴常任委員会ではその内容を精査し、各委員会に付託しました。

## 「住民意見への対応」

総務民生常任委員会では、町民のみなさんからいただいた声の内容を協議し、所管課に報告し協議する内容と調査事項とに分類、今後の委員会活動として取り入れていきます。

その中で、特に重要案件と思われるものをご報告いたします。また、各調査等を行った結果については、随時、議会だより等でご報告いたします。

総務民生  
常任委員会

防災、公共交通の整備に向けた  
取り組みを重点的に調査検証！




- 住民の声を反映した地域公共交通の見直しを検証
- 地域防災力向上に向けた取り組みの検証
- 地域コミュニティの課題把握と取り組みの検証

### 調査します


**免許自主返納**

他の自治体では様々な特典を付与している。本町における特典付与の取組みについて検証する




**空き家対策**

今後増加すると見込まれる空き家対策をどのように実施するのか。本町の空き家対策に対して協議を進める




**防災**

防災の理念である「自助」「共助」の概念から、地域ごとの防災研修の実施、訓練等を有効に実施されているかを調査




**地域公共交通**

公共交通の見直し経過において、住民の声を反映しているかを調査



**小玉委員長のコメント**




住民の声にしっかり耳を傾け、住民が安心して暮らし続けられるための施策をしっかりと検証していきます。

特に地域公共交通や防災面は直近の生活課題と捉え、町が整備する方向性をしっかりと把握し、住民の声を反映した内容となるよう取り組みます。


**地域コミュニティ**

転入者が町内会に加入しない等の課題に注視し、住民の声として担当課に提供。見解と対策について協議する




**交通安全**

必要性があり設置した信号機を老朽化により撤去との判断について、交通安全面における課題を調査検証



**国民健康保険税**

国民健康保険税の資産割を廃止する自治体が増えている状況から、本町の取組みとしての妥当性を検証する



「住民意見への対応」

経済文教常任委員会では産業、教育文化に対する住民意見を協議し、3月17日に産業振興課、建設課、教育委員会に対して意見・要望の申し入れをしました。

また、下記事項を重点項目として調査・協議することとします。

経済文教  
常任委員会

札沼線廃止後の観光施策に注目！

特産品・観光

除雪体制

除雪体制の見直し経過において、しっかり住民の声を聞き、反映しているかを調査する



道路管理

傷んだ歩道の打ち替えや案内板、標識の効果的な設置がされているか、その内容によって委員会内で再協議する



スマート農業

本町が推進しているスマート農業の情報を収集または提供。推進の経過においてしっかり住民の声を聞き、反映しているかを調査する



有害鳥獣被害対策

有害鳥獣被害対策が効果的なものになっているか、被害が確実に減少しているか調査検討を行う



調査します



- 住民目線でのスマート農業の推進
- ふるさと公園リニューアル計画の詳細を検討
- 有害鳥獣被害対策の効果を検証

スクールバス

現在の運行状況、乗車人数、回数などの基本的な情報を把握し、地域公共交通や制度上の制約などに鑑みて、どのような運行が可能か調査検討する



かぜのび

PR方法やツアー企画等住民の声として担当課に提供し見解を伺う。かぜのびの運営状況について精査し、今後のあり方について協議する



鈴木委員長のコメント



これからの町内の産業発展のために、様々な施設やインフラの有効利用が必要です。特に、農業関連事業の諸問題を解決するために提起された問題について検討します。一次産業と三次産業の融合したまちづくりを目指し、経済文教常任委員会の中で調査、協議を重ね、行政側に改善・提案をしていきます。

ふるさと公園再整備基本計画を精査、検討し、また他の公園などの充実した整備を住民の声として担当課に提供する



「住民意見への対応」

「くるま座ミーティング」や「かたるベサロン」で頂いたご意見を「議員定数と報酬」「議会・議員活動の見える化」「議会機能の強化」に分類し、対応を協議しました。

「定数等」は期限を決め検討することとし、「議会・議員活動」はその見せ方を工夫します。

議会運営  
委員会

住民にとって  
より身近な議会を目指す！



●次期に向けた議員の定数と報酬を検討

西内委員長のコメント



定数は「現状（11人）でよい」とのご意見があった一方、「減員して切磋琢磨を」「7〜8人」とのご意見も頂きました。町政の現状や将来の展望を考慮しながら、町民の代表機関である議会の活動に必要な定数と、報酬について検討します。

議会活動の公開、住民と議会の情報共有については、現時点では「議会だより」「町議会フェイブック」を活用しますが、将来的には、インターネット中継導入の検討も必要と考えます。

検討します

議会の動画配信については新庁舎完成後の整備として提案する

議会活動

町議会議員の定数と報酬  
次期改選時以降における議員定数・報酬については、令和3年度中に結論を住民に示したいと考えており、今回頂いたご意見は定数等を検討する際に参考とした



広報広聴常任委員会



昨年度は新たな取り組みとして「議会くるま座ミーティング」「議会かたるベサロン」を実施しました。「気軽な雰囲気の良い」「どっくぼらん」に話が出来た」など好評価を頂きました。

今年度はさらに多くの住民の皆さんの声を聞くために企画を充実させて、各団体とのくるま座ミーティング等も企画していきます。

皆さんの率直なご意見を聞かせてください。

昨年度、住民の方々から頂いた意見、要望は各行政区長に送付させていただきました。また、議会ホームページにも掲載する予定です。

今後の取組み

皆さんの声  
大募集!

議会では、町に何とかしてほしいことや施策へのご意見、また議会に対する思いなどを募集しています。多くの声を聞かせてください。

お近くの議員、または議会事務局まで（TEL 76-3191）

## まちかど インタビュー



阪口 徳幸さん

昭和42年生まれ  
西部地区で農業を営む  
平成30年3月、理事長に就任

●農業施策は  
商工業とのバ  
ランスを見な  
がら力をいれ  
ていきます。  
理事長のこ  
れからのご活  
躍に期待しま  
す。

このコーナーは、ピックアップした町民の方々にインタビューするという企画です。今回は、平成30年度から土地改良区理事長に就任された阪口さんにお話を伺いました。

- ◎ **土地改良区とはどんなところ**  
農業用排水施設の施設・変更、農地の整備等工事を伴う事業や、造成された施設の維持管理、通水排水業務を行っている。
- ◎ **現在の事業は**  
道営・団体営の農地整備事業や施設整備事業に取り組んでいる。
- ◎ **現状の課題は**  
農地を農地として利用するため各種事業を効率よく遂行していくためには農家・行政のみならず議会の協力が必要。
- ◎ **議会に対して望むことは**  
年々農家戸数が減少し、耕作放棄地の発生が目前に来ていると心配している。スマート農業を推進し、基幹産業である農業をいかに守るかが課題。
- ◎ **今後の抱負は**  
農家の負担軽減と農地の効率化を図るとともに、新規就農やＩターン・Ｕターンを促進し、水と緑豊かな新十津川町にしていきたい。

### ●議会開催予定

◎第2回定例会：6月3日(水)から8日(月)まで ※10:00開会

※一般質問は3日(水)午後1時からを予定

※正式な日程につきましては、議会事務局へお問い合わせください。また、休会となる日があります。

多くのみなさまの傍聴をお待ちしております。

インフォメーション  
information

### 議会の動き

2月20日 広報広聴常任委員会  
2月21日 新十津川町営農振興対策協議会総会  
2月26日 総務民生常任委員会  
2月28日 経済文教常任委員会  
3月3日 常任委員会報告会  
3月5日 議会運営委員会  
3月10日～16日  
第1回定例会、予算審査特別委員会

3月16日 全員協議会  
3月27日 議会運営委員会  
4月2日 経済文教常任委員会  
4月8日 第1回臨時会、広報広聴常任委員会  
4月21日 空知町村議会議長会役員会(書面会議)  
5月8日 中空知町議会連絡協議会定期総会(書面会議)

活動内容をタイムリーにお知らせします!

新十津川町議会

facebook

<http://www.facebook.com/shintotsukawa.gikai/>

